

第2回核燃料サイクル関連分野に係る技術に関する施策・事業評価検討会
議事要旨

1. 日時 平成27年2月25日(水) 15:00~17:00

2. 場所 経済産業省別館1階114会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

| | |
|--------|----------------------|
| 黒木 敏高 | 独立行政法人科学技術振興機構 執行役 |
| 杉山 一弥 | 一般社団法人原子力産業協会 企画総務部長 |
| 関 哲朗 | 文教大学情報学部 教授 |
| ※高木 直行 | 東京都市大学工学部 教授 |
| 藤原 啓司 | 原子力発電環境整備機構 技術部長 |

(研究開発実施者)

独立行政法人日本原子力研究開発機構

| | |
|-------|--|
| 小泉 務 | 高速炉研究開発部門 次世代高速炉サイクル研究開発センター 燃料サイクル技術開発部 技術主席 |
| 松村 達郎 | 原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 分離変換技術開発ユニット 分離変換サイクル開発グループ グループリーダー |
| 紙谷 正仁 | 高速炉研究開発部門次世代高速炉サイクル研究開発センター設 計・規格基準室技術副主幹 |
| 佐藤 武彦 | 高速炉研究開発部門次世代高速炉サイクル研究開発センター プ ロジェクト推進室主査 |

三菱マテリアル株式会社

| | |
|-------|------------------------------|
| 大場 一鋭 | エネルギー事業センター所長補佐 |
| 菊池 俊明 | エネルギー事業センタープラントエンジニアリング部部長補佐 |
| 太田 和明 | エネルギー事業センター営業部長 |

日本原燃株式会社

| | |
|-------|-----------------------------|
| 中村 裕行 | 再処理事業部再処理計画部長 |
| 兼平 憲男 | 再処理事業部エンジニアリングセンター技術開発研究所課長 |
| 駒嶺 哲 | 再処理事業部エンジニアリングセンター技術開発研究所副長 |

(事務局)

資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課

飛驒 俊秀 企画官（核燃料サイクル担当）
岡野 正紀 課長補佐
牧野 崇義 課長補佐
楠見 理恵 核燃料サイクル専門職

産業技術環境局技術評価室

村田 博顕 課長補佐

4. 配布資料

資料1 第1回評価検討会議事録（案）

資料2 評価報告書案（案）

5. 議事概要

(1) 第1回評価検討会議事録の確認について

「資料1 第1回評価検討会議事録（案）」の確認を行い、了承された。

(2) 評価報告書（案）について

事務局から、「資料2 評価報告書（案）」について説明があり、その内容について審議が行われ、一部修正を行うこととして了承された。追加的な修正については座長一任で行うこととされた。

主な質疑応答は以下のとおり。

- ・ 報告書（案）6章「技術に関する施策」に係る評価とりまとめ案に関し、「エネルギー資源の無い」という記載について、「資源の少ない」、又は「資源の乏しい」の記載の方が適切ではないかとの意見があり、座長と調整した上で、記載ぶりをどちらかに修正することとなった。
- ・ 5章の「技術に関する事業」のBの事業の「総合評価」とりまとめ案について、「一面的で不十分」という記載については、事業者からの補足説明等を踏まえると、不十分という言い方は適切では無いのではないかとの意見があり、座長と調整した上で、記載ぶりを修正することとなった。
- ・ 7章の「評点結果」について、評価点数の意味がわかりにくいため報告書単体でわかるようにできないかとの意見があり、省内にて報告書様式について検討することとなった。

(3) 今後の予定

事務局から、本評価検討会です承された評価報告書（案）は、産業構造審議会産業技術分科会評価小委員会で審議され、了承を得た後、経済産業省ホームページで公開されるとの説明があった。